

## ブルーギル

分類群	魚類	原産	北アメリカ
学名	Lepomis macrochirus	分布	全国的に分布。丹沢山系内の玄倉川にて採取され、宮ヶ瀬湖、相模湖、津久井湖にも分布
科名	サンフィッシュ科		
区分	防除種A		
特長	全長25cmで、体高が高く体色は暗褐色であり、雌雄ともに鰓蓋後端のやや突出した部分の色が濃紺ないし黒であり、雑食性。	侵入経路	釣り対象、食用として持ち込まれ、各地に持ち込まれた。
影響	捕食、競合、駆逐	防除方法	特定の生活史段階や季節に集合する習性の利用、様々な種類の刺激など、捕獲対象を積極的におびき寄せる方法の開発が望まれ、モンドリでの捕獲も効果がある。
その他			

## オオクチバス

分類群	魚類	原産	北アメリカ
学名	Micropterus salmoides	分布	全国的に分布。県内では丹沢湖や宮ヶ瀬湖などに分布。
科名	サンフィッシュ科		
区分	防除種A		
特長	全長30～50cm程度で、上あごの後端が眼の後縁の直下よりも後方に達しており、体側から背にかけて不規則な暗斑があり、腹側は黄味を帯びた白色である。	侵入経路	釣り対象、食用として持ち込まれ、各地に持ち込まれた。
影響	捕食	防除方法	稚魚のすくい取り、産卵床の破壊、人工産卵床の設置、地引き網による捕獲等。
その他			

## タイリクバラタナゴ

分類群	魚類	原産	中国
学名	Rhodeus ocellatus ocellatus	分布	全国的に分布。県内の湖沼に広範囲に分布している
科名	コイ科		
区分	防除種B		
特長	体長6.5cm程度で、体は平たく、口ひげはなく、繁殖期のオスは全体的に美しいバラ色の婚姻色になり、メスは体色が銀白色で背鰭に黒い紋があり、二枚貝に産卵する。	侵入経路	種苗に混入して拡散した。
影響	競合、駆逐	防除方法	池干し
その他			

## ニジマス

分類群	魚類	原産	カムチャッカ半島、アラスカからバハカリフォルニアに至る太平洋岸
学名	Oncorhynchus mykiss		
科名	サケ科	分布	全国的に分布。ニジマスは相模川水系の中津川等から採取され、繁殖の可能性もある。
区分	防除種B		
特長	全長80～100cm。明瞭なパーマークをもつ幼魚はヤマメに似るが背鰭や尾鰭にまで黒斑があり、口吻がやや丸い、尻鰭の軟条数がヤマメの13～15本に対して8～10本と少ない、口腔内の突起の状態で見分けできる。	侵入経路	人為的に放流されている。
影響	捕食、競合、駆逐	防除方法	困難
その他	河川や釣堀への放流量が多く、繁殖の可能性もかなり高い。		

## カワマス

分類群	魚類	原産	北アメリカ
学名	Salvelinus fontinalis	分布	丹沢の自然水域で採集記録がある。
科名	サケ科		
区分	防除種B		
特長	全長12～53cm。 背鰭に黒くはっきりした虫食い斑があり、尾鰭には黒い網目状の模様がある。体側の模様は派手で複雑。暗褐色の地色に黄色い斑点と赤点がある。特に赤点は青白い輪で囲まれた眼状紋になる。胸鰭と腹鰭と尻鰭は赤く、かつその前縁は白く、すぐ後ろは黒く縁取られる。雄の腹部は赤く、さらに体軸に平行した2本の黒い帯が目立つ。 成熟すると雄は下顎の先端が上方に曲がり、体高が高くなる。	侵入経路	人為的に放流されている。
影響	捕食、競合、駆逐	防除方法	困難
その他			

## ブラウトラウト

分類群	魚類	原産	ヨーロッパから西アジア
学名	Salmo trutta	分布	丹沢の自然水域で採集記録がある。
科名	サケ科		
区分	防除種B		
特長	大型の個体では体長100cmに達する。ニジマスに似るが体側に虹色の縦条はなく、大型の黒斑と白や青色で縁取られた朱赤色の大型斑点が散在する。背面はやや緑がかった褐色、腹部は銀白色。 3～4歳魚で20～50cm。	侵入経路	人為的に放流されている。
影響	捕食、競合、駆逐	防除方法	困難
その他			

## イワナ

分類群	魚類	原産	本州
学名	Salvelinus leucomaenis	分布	全国的に分布。他地域産が相模川、花水川、酒匂川水系を中心に分布が確認されている。
科名	サケ科		
区分	防除種B		
特長	<p>アメマス、ニッコウイワナ、ヤマトイワナ、ゴギの4亜種に分けられる。</p> <p>アメマス: 体型は丸太状。暗褐色、暗灰色、銀白色の地色に瞳と同大かそれより大きい白色の斑点があるのが一般的。</p> <p>ニッコウイワナ: 側線から腹側にかけて、瞳と同大かそれよりもやや大きい橙色や黄色、桃色の斑点が散在する。また、側線から背部にかけて、上記の斑点よりも小さな白色斑点が散在する。</p> <p>ヤマトイワナ: 体側の有色斑点は、朱紅色で側線の上下にほとんど一様に並列しており、成魚においてもその色彩が明瞭に残る。</p> <p>ゴギ: 背部から体側の白斑が頭頂まで続く。</p>	侵入経路	人為的に放流されている。
影響	交雑、捕食、競合、駆逐	防除方法	困難
その他	つり魚として人気があり、放流も盛んに行われている。		

## ヤマメ(アマゴを含む)

分類群	魚類	原産	北太平洋のアジア側
学名	Oncorhynchus masou masou (Oncorhynchus masou ishikawai)	分布	全国的に分布。他地域産が相模川、花水川、酒匂川水系を中心に分布が確認されている。
科名	サケ科		
区分	防除種B		
特長	<p>ヤマメ: 降海個体60cm、陸封個体30cm。  ○降海個体: 海洋生活期の成魚は銀白色で、背部と尾鰭に小黑点が散在し、尾鰭の銀色の放射条は不明瞭で短い。  ○陸封個体: 体側にはサケ科幼魚期の特徴である黒いパーマークが並び、側線部にはうっすらと紅をはいて美しい。  アマゴ:  ○降海個体: 25～50cm。  ○陸封個体: 20～25cm。体側に7～11個の暗青緑色のパーマークがある。背側には小黑点、側線の上下から背部にかけては朱紅点が散在する。</p>	侵入経路	人為的に放流されている。
影響	交雑、捕食、競合、駆逐	防除方法	困難
その他	つり魚として人気があり、放流も盛んに行われている。		

## イトウ

分類群	魚類	原産	北海道、本州北部
学名	Hucho perryi	分布	丹沢の自然水域で採集記録がある。
科名	サケ科		
区分	防除種B		
特長	全長100～150cm。体背は褐色ないし黒褐色で、全体に小さな黒色斑が多数散在する。体腹側は銀白色。頭部背面は扁平で、体高は比較的低く、全体に細長い。稚魚期には体側に7～10個ほどのパーマークを持つが全長15cmほどで不明瞭になり、それより大型の個体では完全に消失する。	侵入経路	人為的に放流されている。
影響	交雑、捕食、競合、駆逐	防除方法	困難
その他	つり魚として人気があり、放流も盛んに行われている。		

## コクチバス

分類群	魚類	原産	北アメリカ
学名	Micropterus dolomieu	分布	全国的に分布。宮ヶ瀬湖や中津川などで生息確認。渓流域にて生息が可能。
科名	サンフィッシュ科		
区分	防除種A		
特長	体長30～50cm程度で、オクチバスに似るが、口は小さくて上あごの後端が眼の中央下まで達しておらず、低水温に対する耐性が強く、また流水域にも適応できる。	侵入経路	釣り対象、食用として持ち込まれ、各地に持ち込まれた。
影響	捕食	防除方法	ヤス、水中銃、延縄、刺し網などによる駆除、人工産卵床を設置して親魚を誘引して駆除を行うことも検討されている。
その他			

## カラドジョウ

分類群	魚類	原産	中国
学名	Paramisgurnus dabryanus	分布	関東圏の平野部では広く生息が確認されている。
科名	ドジョウ科		
区分	準・防除種B		
特長	全長9cmで、口ヒゲが長く眼径の約4倍あり、尾鰭基底上部に暗色斑がなく、鱗がやや大きくて側線鱗数は110～135程度であり、尾柄長が頭長よりも長い傾向がある。	侵入経路	種苗に混入して拡散した。
影響	競合、駆逐	防除方法	不明
その他			